

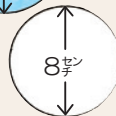
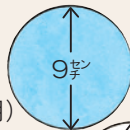
使用済みのコーヒーかすを使った

# エッな針山

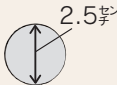


## 材料

- 使用済みのコーヒーかす 35~50g (新聞紙などに広げてからからに乾燥させたもの)
- フェルト生地① (直径9cm) 3枚 (帽子の頭、つば、裏用)
- さらし生地 (直径8cm) 2枚 (いらなくなったワイシャツ生地でもOK)



- 厚紙 (直径2.5cm) 1枚



- フェルト生地② (幅1.2cm長さ25cm) 2本



- フェルト生地③ (幅1cm長さ4cm) 色違いで5~9本



- 針と糸 (縫い糸と刺しゅう糸)
- ボンド



● 作り方 ● 箕面市老連女性部

## 作り方

- 1 フェルト生地①の端から5mmと1cmのところをそれぞれぐし縫いしてドーム状にし、頭部分をつくる。



- 2 さらし生地2枚を縫い合わせ、中にコーヒーかすを入れて閉じる。手縫いの場合、中身がこぼれないように細かく目を詰めて縫うとよい。



- 3 ②に①をかぶせる。



- 4 ③の頭部分の生地を、フェルト生地①のつば用にしたまつりで縫いつける。



頭部分とつば部分にチャコペンなどで印をつけるとずれにくい

- 5 フェルト生地①の裏用にボンドで厚紙を張り、つば部分と裏部分もボンドで張り合わせる。



張り合わせた部分がずれた場合は、はさみでカットする

- 6 刺しゅう糸3本どりで、つば部分のふちにボタンホールステッチをする。



- 7 フェルト生地②を頭部分に巻きつけ、ボンドで張る。少し重なったところで切る。



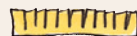
ぐし縫いした糸が見えていたら、糸を切ってほどこいてもOK

- 8 もう1本のフェルト生地②でリボンの形をつくり、縫い付ける。



真ん中を糸でぐるぐるとしぼる

- 9 飾りの花をつくる。フェルト生地③の上3分の2を2、3ミリの間隔で切り込みを入れる。



- 10 丸く巻いて、下部分を針で止め、ボンドで固める。これを5~9個つくる。



- 11 リボンと反対側の、フェルトの帯とつばの境目に花を並べてつける。



できあがり

## ポイント

コーヒーに含まれる油分が針のサビを防いでくれます